

ごあいさつ

1980年代は、不透明の時代といわれ、先行きの見通しを立てることが極めて困難な時代であるといわれていますが、資源・エネルギーの制約は、ますます厳しくなるものと予想され、また、国、地方を通じて財政状況も引き続いて厳しいものと覚悟しなければなりません。

一方、近年しきりに地方の時代ということがいわれております。これまでの大都市中心、あるいは全国画一的な考えから脱皮し、地方の特色を生かし、地方の知恵を結集して地方の魅力を高めていこうというものであります。

また、県民の間には物質的な豊かさだけでなく、精神的なゆとりや人々との心のつながりなど、目に見えない豊かさを目指す動きが強くなっております。

1980年代には、厳しい状況の中において、このような新しい動きに対応し、県勢の振興をはかり、県民生活の向上をはかっていかなければなりません。

将来のことを見通すことの極めて困難な時期ではありますが、私は、このような時期であればこそ、未来



を築く確かな目標を定め、その基本方針に沿って総合的、計画的な県政を進めていくことが必要であると考へ、この度「80年代熊本県総合計画」を策定した次第であります。

厳しくかつ激しい変動の予想される1980年代において、真に豊かで住みよい郷土を築くためには、県はもとより、県民一人ひとりが持てる力を十分に発揮することが必要であります。

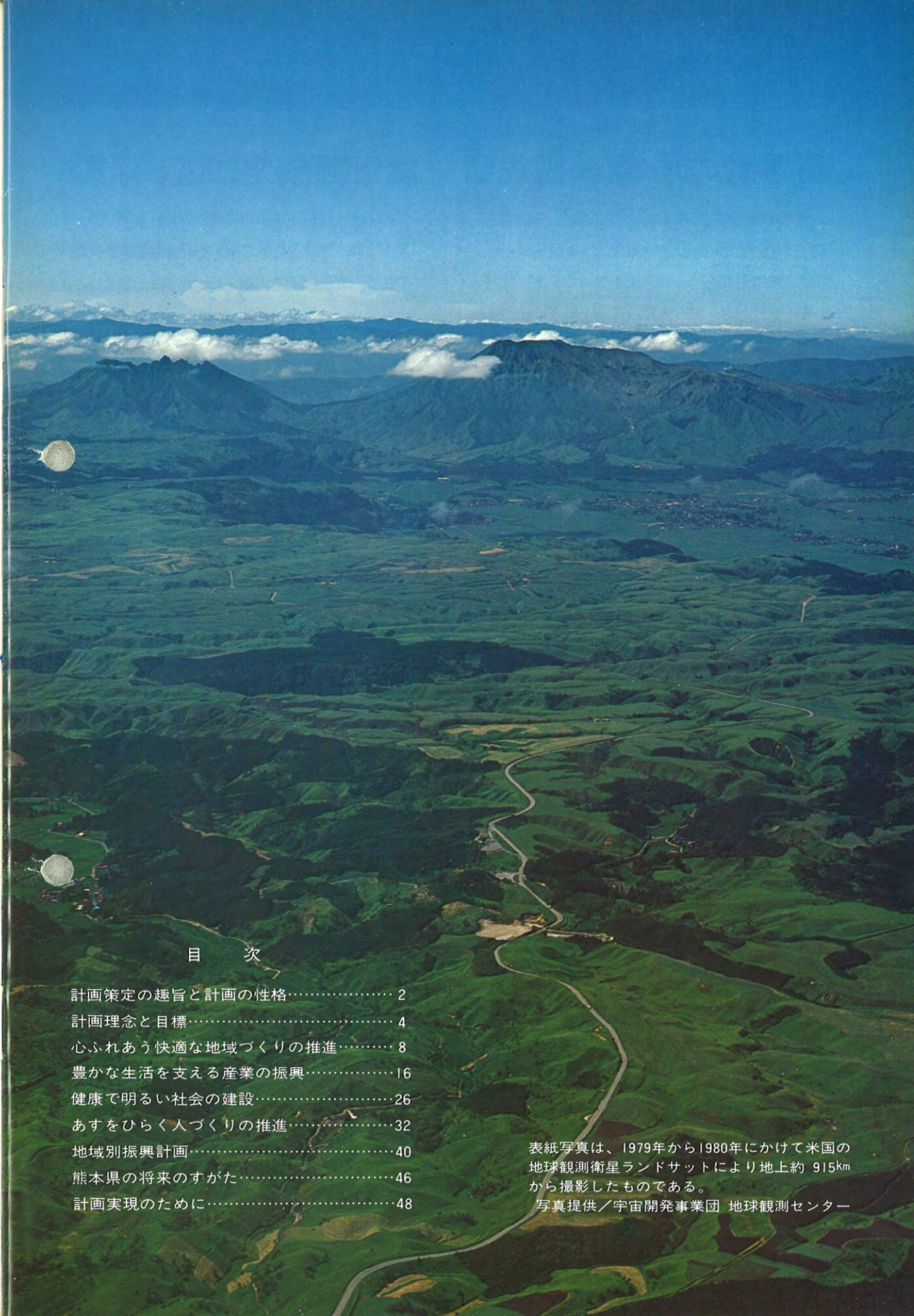
この計画に掲げた目標は、容易ではありませんが、県民の皆さまの御協力があれば十分に達成可能だと考えます。目標の達成のために、県民の総力が結集されることを期待する次第であります。

計画の策定に当たっては、広く県民の御意見を拝聴いたしました。御協力いただいた関係各位に心より謝意を表しますとともに、今後とも一層の御理解、御協力を切にお願い申し上げます。

昭和56年7月

熊本県知事

沢田一精



目次

計画策定の趣旨と計画の性格	2
計画理念と目標	4
心ふれあう快適な地域づくりの推進	8
豊かな生活を支える産業の振興	16
健康で明るい社会の建設	26
あすをひらく人づくりの推進	32
地域別振興計画	40
熊本県の将来のすがた	46
計画実現のために	48

表紙写真は、1979年から1980年にかけて米国の地球観測衛星ランドサットにより地上約915kmから撮影したものである。
写真提供/宇宙開発事業団 地球観測センター